

3. 温室効果ガス排出量 主な増減理由 (平成24年度：令和元年度) 【総合環境センター】

温室効果 ガス排出量 単位 kg/CO <sub>2</sub>	燃料	平成24年度	令和元年度	増減	増減率	令和元年度主な増減理由(前年度比) ●は増加、○は減少
	電 気	1,563,235	1,420,983	△ 142,252	△ 9.10 %	●ごみの計画的な投入などを行い発電に努めているが突発的な故障による溶融炉の運転停止があり、効率的に発電できる2炉運転日数が少なくなり、受電電力量が増えたため、発電量が低下し、結果的に平成30年度より電力使用量が増加した。
	灯 油	603,576	421,034	△ 182,542	△ 30.24 %	●突発的な故障による溶融炉の運転停止があり、炉の立ち上げに要する灯油の使用量が多くなったため、結果的に平成30年度より灯油使用量が増加した。
	A 重 油	0	0	0	—	—
	L P G	0	0	0	—	—
	ガソリン	3,384	3,013	△ 371	△ 10.97 %	○公用車を使用する際、乗り合わせやエコドライブに努めたため。
	軽 油	96,117	95,968	△ 149	△ 0.16 %	●重機等の作業時間の増加や、他課への車両の貸し出し等により走行距離が伸びたため、結果的に平成30年度より軽油使用量が増加した。
	コークス	3,867,994	3,256,000	△ 611,994	△ 15.82	○効率的な廃棄物の混合投入を実践したことで、コークス使用量を削減することができた。
	計	6,134,306	5,196,998	△ 937,308	△ 15.28 %	